

65 オオアジサシ

(チドリ目)

Thalasseus bergii

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:注

環境省ランク: VU

種の概要

アフリカ南部からアジア南部、オーストラリアなどの沿岸、太平洋南西部の島嶼、小笠原諸島などで繁殖し、繁殖後は主に海上で過ごす。日本では、春秋の渡りの時期に本州、四国、沖縄などに渡来する。西之島や尖閣諸島などに少数の繁殖コロニーがある。海岸や湖沼に生息し、主に魚類を採食する。

国内分布

本州、四国、九州、伊豆諸島、小笠原群島、西之島、南鳥島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、尖閣列島、南大東島、太平洋本州中部沖、伊豆諸島沖、小笠原諸島沖、東シナ海、南西諸島沖



写真提供：三谷康則

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、明石市、加古川市、高砂市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁殖	希 少
									○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では8-11月に記録がある。古くは1950年10月に明石沖で記録されただけで、迷行種と考えられていたが、1974年以降、姫路市白浜沖や加古川河口で10-20羽の群れが秋に記録されるようになった。近年は姫路市の沖合いに少数が定期的に渡来していたが、最近の記録はなく、今後の動向が注目される。

保護上の留意点

生息域の自然環境の保全および漁業用の多くの竹竿が重要な休息の場となっており、維持することが重要。